

2001年改訂版  
学校医の手びき



金沢市医師会

#### [4] 幼稚園児と保育園児の保健管理

幼稚園と保育園の歴史は古く、両者ともに100年以上の経過がある。しかし、近年のように制度化されたのは、幼稚園は昭和22年に制定された学校教育法によるものであり、保育園は昭和23年児童福祉法によって設置されている。即ち、幼稚園は教育法によって定められているように教育が目的であり、保育所は日々の保育に欠ける子供の保護、育成であり、併せて教育（しつけ）を行なうとされている。管轄も幼稚園は文部省であり、保育所は厚生省となっている。

幼稚園の保護、安全管理は学校教育法第12条に定められ、一方、保育所では児童福祉施設最低基準によって定められている。幼稚園では年に1回、保育所では年に2回の健康診断を行なうことになっている。（表8）

園児の保健管理については、多くは学校保健に準ずるとなっていて、全国的な基準がないのが現状である。今回も会員の協力を得て保健調査表を作成したので、保健管理の手がかりとしていただきたい。（表9、表10）

－表8－

学校保健と乳幼児保健の比較

		学 校	幼 稚 園	保 育 園 (所)
法 律		学校教育法	同 左	児童福祉法
目 的		義務教育	幼児に学校教育	保育に欠ける乳児・幼児
保 健 体 系		学校保健法	学校保健法 母子保健法	児童福祉法 母子保健法
身 分		学校医 (嘱託医、非常勤)	同 左	嘱託医
対 象		義務教育による全員	選択肢の1つ	児童福祉施設
環 境		学校という独特の集団生活	家庭内にいる時間が多い	家庭内にいる時間は少ない
法 令		整備されている	同 左	児童福祉施設最低基準による
健 診	方 法	集団で実施	同 左	同 左
	項 目	一定	同 左	学校保健法に準ずる
	実 施 時 期	毎年定期	同 左	毎年2回
	結 果 の 記 録	健康診断票	同 左	健康記録表
	管 轄	文部省(都道府県知事) 教育委員会など	同 左	厚生省 福祉事務所 保健所など

# 保 健 調 査 表

氏名 \_\_\_\_\_

1. 朝起きた時や夜寝ついた時にかせきや痰の  
からむせきがやすいですか ……いつも……時々……いいえ
2. ゼイゼイ、ヒューヒューがでた事がありますか  
……いつも……時々……いいえ
3. 鼻がつまったり、鼻水が出やすいですか ……いつも……時々……いいえ
4. いままでに気管支（小児）喘息や喘息性気管支炎といわれ  
た事がありますか ……はい……いいえ  
(4で“はい”と答えた方だけ)
  - ・慢性特定疾患の申請をしていますか ……はい……いいえ
5. いつも皮膚がざらざらしていますか ……はい……いいえ  
(5で“はい”と答えられた方だけ)
  - ・いつも塗り薬や飲み薬を使っていますか ……はい……いいえ
6. 疲れやすく、すぐゴロゴロしますか ……はい……いいえ
7. 少しの運動でうずくまってしまう事がありますか ……はい……いいえ
8. いままでに医師に心臓が悪いとか、脈が乱れているといわ  
れた事がありますか ……はい……いいえ  
(8で“はい”と答えられた方だけ)
  - ・精密検査を受けましたか ……はい……いいえ
  - ・精密検査での病名（詳しく） \_\_\_\_\_
  - ・手術を受けましたか ……はい……いいえ
9. 川崎病と診断された事がありますか ……はい……いいえ
10. リウマチ熱と診断された事がありますか ……はい……いいえ
11. いままでに顔や手足がむくんだり、尿で蛋白や血尿を指摘  
された事がありますか ……はい……いいえ  
(11で“はい”と答えられた方だけ)
  - ・精密検査を受けましたか ……はい……いいえ

- 検査での病名……異状無し、急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ、微細血尿  
無症候性（起立性）蛋白尿、遊走腎、\_\_\_\_\_

12. いままでひきつけを起こした事がありますか ……はい……いいえ  
(12で“はい”と答えられた方だけ)
- いつもひきつけ止めのお薬を飲んでいますか ……はい……いいえ
13. 顔色がわるい、または貧血を指摘された事がありますか ……はい……いいえ
14. 車に酔いやすい方ですか ……はい……いいえ
15. 風邪等にかかると吐く事が時々ありますか ……はい……いいえ
16. 鼻血がなかなか止まらなかったり、軽い打撲でおおあざが  
できやすい方ですか ……はい……いいえ
17. においがわからない事がありますか ……はい……いいえ
18. 目がよく赤くなりますか ……はい……いいえ
19. 目やにや涙がよくでますか ……はい……いいえ
20. 目をよく掻いたり、痒がったりしますか ……はい……いいえ
21. 物（テレビ）を見る時、異常に近づいて見ますか ……はい……いいえ
22. 物（テレビ）を見る時、目を細めたり、アゴをひいて三白  
眼で見たり、横目で見ようとしますか ……はい……いいえ
23. 絵本を見る時、顔を近づけすぎませんか ……はい……いいえ
24. 斜視がありますか ……はい……いいえ
25. 近くの物を見ると片方の眼が内に寄りますか ……はい……いいえ
26. 絵を描く時に色の使い方におかしい事がありますか ……はい……いいえ
27. まばたきがはげしいですか ……はい……いいえ
28. 名前を呼ばれても気付かない事が時々ありますか ……はい……いいえ
29. “えっ”とか“なに”と聞き返しが多いですか ……はい……いいえ
30. テレビの音量を異常に大きくする事が時々ありますか ……はい……いいえ
31. 1対1の会話はわかるが、多人数での会話がわからない事  
がありますか ……はい……いいえ
32. 次の病気でかかった事のあるものに年齢を記入して下さい  
(年齢を覚えていなければ◎を)

はしか（ 歳）、水痘（ 歳）、おたふく風邪（ 歳）、風疹（ 歳）  
百日咳（ 歳）、伝染性紅斑（りんご病）（ 歳）、手足口病（ 歳）

33. 次の予防接種で済んでいるものに○をつけてください（判らなければ？を）

BCG（ ）、ポリオ（ ）、はしか（ ）、おたふく風邪（ ）、  
風疹（ ）、MMR（ ）、水痘（ ）、

3種（2種）混合ワクチン（DPT（DT））Ⅰ期…

3回とも接種（ ）、2回（ ）、1回（ ）

3種（2種）混合ワクチン（DPT（DT））Ⅱ期（ ）

日本脳炎… 3回接種（ ）、2回接種（ ）、1回接種（ ）

その他 \_\_\_\_\_

34. 食餌アレルギーがあればアレルギーとその症状を書いて下さい

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

35. 現在治療中あるいは経過観察中の病気があれば書いて下さい

また、運動等に参加することで支障がある病気があれば書いて下さい

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

36. その他健康に関して気になる事があれば書いて下さい

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

……………以下記入しないで下さい……………

はしか ( ) 歳)、水痘 ( ) 歳)、おたふく風邪 ( ) 歳)、風疹 ( ) 歳)

百日咳 ( ) 歳)、伝染性紅斑 (りんご病) ( ) 歳)、手足口病 ( ) 歳)

33. 次の予防接種で済んでいるものに○をつけてください (判らなければ?を)

BCG ( )、ポリオ ( )、はしか ( )、おたふく風邪 ( )

風疹 ( )、MMR ( )、水痘 ( )

3種 (2種) 混合ワクチン (DPT (DT)) I期…

3回とも接種 ( )、2回 ( )、1回 ( )

3種 (2種) 混合ワクチン (DPT (DT)) II期 ( )

日本脳炎… 3回接種 ( )、2回接種 ( )、1回接種 ( )

その他 \_\_\_\_\_

34. 食餌アレルギーがあればアレルゲンとその症状を書いて下さい

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

35. 現在治療中あるいは経過観察中の病気があれば書いて下さい

また、運動等に参加することで支障がある病気があれば書いて下さい

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

36. その他健康に関して気になる事があれば書いて下さい

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

……………以下記入しないで下さい……………

—表10—

健診の事後処理（治療中、経過観察中は不要）

「小学校の健診結果のお知らせ」を参考に……。診断票を出させるか、親からの報告だけにするかは園の判断（次年度の為に処理状況を確認された方がよい）

心臓の手術を受けた園児、心疾患で治療中あるいは経過観察中の園児、川崎病だった園児、腎炎やネフローゼの園児は主治医より管理指導表をもらっておいて下さい。

○ 視力異常（21～23）、眼位異常（24～25）、結膜疾患（18～20）

—文面例— アンケート調査（保健調査表）により視力異常（近視、遠視、乱視等）、眼位異常（斜視、斜視弱視）、結膜疾患があるかもしれません。眼科専門医で検査を受けて下さい。

○ 難聴（28～31）、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎（3、17）

—文面例— アンケート調査（保健調査表）により軽度の難聴（滲出性中耳炎、耳管狭窄症等）あるいはアレルギー性鼻炎、副鼻腔炎等があるかもしれません。耳鼻咽喉科専門医で検査を受けて下さい。

○ 低身長（低身長基準表でスクリーニング）

—文面例— 身長が平均より異常に低いようです。小児科の内分泌専門医で検査を受けて下さい。

○ アトピー性皮膚炎（健診で指摘した園児で5の附（いつも塗り薬や飲み薬を…）で“いいえ”に○がついている園児）

—文面例— アトピー性皮膚炎がひどいようです。皮膚科専門医あるいは小児科のアレルギー専門医で治療を受ける事をお勧めします。

○ 歯疾患（健診で指摘した園児）

—文面例— う歯が目立ちます。歯科への受診をお勧めします。

○ 蛋白尿、血尿、糖尿、蟻虫症、寄生虫

—文面例— 検尿（便）の検査左記の異常がありました。小児科（内科）を受診して精密検査（治療）を受けて下さい。

○ その他（健診、アンケートで指摘した園児）

☆☆☆ 低身長スクリーニング ☆☆☆

歳・月	男児	女児	歳・月	男児	女児	歳・月	男児	女児
3・0	87.7	87.0	6・0	104.6	104.7	9・0	119.7	118.9
・1	88.3	87.5	・1	105.0	105.1	・1	120.1	119.3
・2	88.9	88.2	・2	105.4	105.3	・2	120.5	119.6
・3	89.5	88.7	・3	105.7	105.7	・3	120.8	120.0
・4	90.0	89.3	・4	106.2	106.0	・4	121.2	120.5
・5	90.4	89.8	・5	106.6	106.1	・5	121.6	120.8
・6	91.0	90.4	・6	107.1	106.4	・6	122.0	121.2
・7	91.5	90.9	・7	107.6	106.8	・7	122.3	121.6
・8	92.1	91.4	・8	107.9	107.2	・8	122.8	122.0
・9	92.6	92.0	・9	108.4	107.6	・9	123.1	122.4
・10	93.0	92.4	・10	108.8	108.1	・10	123.4	122.8
・11	93.6	93.0	・11	109.2	108.5	・11	123.9	123.3
4・0	94.0	93.4	7・0	109.6	109.0	10・0	124.2	123.7
・1	94.5	94.0	・1	110.1	109.4	・1	124.5	124.0
・2	94.9	94.4	・2	110.4	109.8	・2	125.0	124.5
・3	95.5	94.9	・3	110.9	110.2	・3	125.3	124.9
・4	96.0	95.5	・4	111.4	110.7	・4	125.6	125.3
・5	96.4	95.9	・5	111.7	111.0	・5	126.1	125.8
・6	97.0	96.4	・6	112.2	111.5	・6	126.4	126.1
・7	97.4	96.9	・7	112.6	112.0	・7	126.8	126.7
・8	97.9	97.4	・8	113.0	112.3	・8	127.1	127.2
・9	98.4	97.9	・9	113.5	112.8	・9	127.5	127.8
・10	98.9	98.3	・10	113.9	113.2	・10	127.8	128.2
・11	99.4	98.8	・11	114.3	113.6	・11	128.2	128.8
5・0	99.9	99.2	8・0	114.8	114.0	11・0	128.5	129.3
・1	100.2	99.7	・1	115.2	114.5	・1	128.9	129.9
・2	100.6	100.1	・2	115.6	114.8	・2	129.1	130.3
・3	100.9	100.6	・3	116.1	115.3	・3	129.5	130.9
・4	101.3	101.0	・4	116.6	115.7	・4	129.9	131.4
・5	101.7	101.4	・5	116.9	116.1	・5	130.2	132.0
・6	102.1	101.8	・6	117.4	116.5	・6	130.6	132.5
・7	102.5	102.3	・7	117.8	117.0	・7	131.0	133.0
・8	102.9	102.7	・8	118.2	117.3	・8	131.3	133.0
・9	103.3	103.1	・9	118.6	117.7	・9	131.7	134.1
・10	103.8	103.7	・10	118.9	118.1	・10	132.1	134.7
・11	104.2	104.2	・11	119.4	118.5	・11	132.5	135.2

標準身長－2SDの身長を表してあります

※この基準に満たない児は精密な内分泌学的検査を要しますので内分泌専門医のいる医療機関を受診させて下さい。

引用文献 田中敏章：身長・成長率とその評価、小児内科、22；1601、1990